

Governor's Monthly Letter

3
2015

国際ロータリー第2560地区 2014-2015年度「ガバナー月信」

Rotary  2014-2015
Rotary International District 2560

委員会・イベント報告

第2回米山委員長セミナー報告

全国学友会会長セミナー報告

PETS 報告

国際協議会報告

宇尾野 隆 (新潟 RC)

孫 犁冰 (新潟東 RC)

藤田 普 (新潟南 RC)

山本 和則 (新潟南 RC)

佐々木年度後半への抱負

第2560地区 56クラブ会長

クラブ紹介

第7分区クラブ紹介 越後春日山ロータリークラブ

高田ロータリークラブ

糸魚川中央ロータリークラブ

佐々木昌敏ガバナーメッセージ

Japan Rotary Day II in Tokyo

ロータリー文庫通信

ハイライト米山

新入会員報告



国際ロータリー第2560地区
ガバナー 佐々木 昌敏

目次

1. 目次
2. ガバナーメッセージ 佐々木 昌敏
3. 第2回米山委員長セミナー報告
米山奨学寄付増進委員会委員長 宇尾野 隆（新潟 RC）
4. 全国学友会会長セミナー報告 米山学友会 理事 孫 犁冰（新潟東 RC）
5. PETS 報告 PETS 実行委員会 委員長 藤田 普（新潟南 RC）
6. 国際協議会報告 ガバナーエレクト 山本 和則（新潟南 RC）
7. 佐々木年度後半への抱負 その1 各クラブ会長 （新発田 RC～新潟 RC）
8. 佐々木年度後半への抱負 その2 各クラブ会長 （新潟東 RC～村松 RC）
9. 佐々木年度後半への抱負 その3 各クラブ会長 （五泉 RC～見附 RC）
10. 佐々木年度後半への抱負 その4 各クラブ会長 （吉田 RC～栃尾 RC）
11. 佐々木年度後半への抱負 その5 各クラブ会長 （長岡西 RC～直江津 RC）
12. 佐々木年度後半への抱負 その6 各クラブ会長 （新井 RC～越後春日山 RC）
13. 第7分区クラブ紹介 越後春日山ロータリークラブ 会長 峯村 正文
14. 第7分区クラブ紹介 高田ロータリークラブ 副会長 橋本 眞孝
15. 第7分区クラブ紹介 糸魚川中央ロータリークラブ チャーターメンバー 猪又 初夫
16. 新会員紹介その1
17. 新会員紹介その2
18. 文庫通信 330号
19. ハイライト米山 179-1
20. 179-2
21. 2013-2014年度 1月末会員数および出席報告その1
22. 2013-2014年度 1月末会員数および出席報告その2

* PDF版では目次の各記事名をクリックする事で
該当のページへ直接移動します。
また各ページ下部の[目次へ](#)をクリックする事で
このページまで戻る事が出来ます。



Japan Rotary Day II in Tokyo

国際ロータリー第 2560 地区 2014-15 年度

ガバナー 佐々木 昌敏

2560 地区のみなさん こんにちは！
寒い冬もすぎて、ようやく春めいてきました。

7 月 1 日以降新しくロータリーに入会された方が、2 月 13 日現在 150 名を超えました。ありがたいことです。入会のすすめかたもうまくなってきて、エンジン全開というところまでございましょうか。

さて、「ジャパンロータリーデー II in 東京」が、2 月 4 日（水）東京お台場でゲイリー C.K. ホアン RI 会長ご夫妻をお迎えして盛大に開催されました。田中作次元 RI 会長、北清治 RI 理事をはじめ総勢 700 名近いロータリアンがホテルグランドパシフィックに集まりました。

メインプログラムは、各地区 or クラブのロータリーデー映像紹介でありました。「ジャパンロータリーデー in 愛知」の規模、内容、参加人数には遠く及びませんが、当 2560 地区の 10 月 12 日開催山古志村でのロータリーデーの映像もしっかり放映されました。地区の様子が全国のみなさんに紹介され大変うれしく思いました。

さらにうれしく、ありがたく思ったことは、

渡辺敏彦	PG、第 1 ゾーン RPIC	
佐々木昌敏	ガバナー	
佐々木藤枝	ガバナー夫人	
高橋秀樹	新潟クラブ会長	
菊池 渉	三条クラブ G 補佐	
野崎喜一郎	三条クラブ幹事	
菅家敏彦	三条東クラブ 10 周年事業実行委員長	
伊藤晴祥	雪国魚沼クラブ	} 新会員 1～3 年
岩本剛夫	小千谷クラブ	
古谷 聡	小千谷クラブ	

と出席者 10 名を数えたことでありました。

これまで、東京開催のガバナー会、ロータリー研究会、各種セミナーでの 2560 地区出席者の影が薄く、地区運営課題のひとつとしていたことに対して、今回だけは肩身が狭いことなく、ひと並み以上の顔みせができて、よかったと思っております。渡辺敏彦パストガバナーも、今回だけはロータリー・ジャパンの役員としての顔も立ったと内心ほっとされているのではないかとお察し申しあげている次第であります。

そして、新会員のみなさまはじめ出席いただいた会員は異口同音に、“来て良かった。おもしろかった！”とおっしゃっていただき、小職ほっと安堵の胸をなでおろして帰路についたことでありました。



第2回米山奨学委員長セミナー報告

国際ロータリー第 2560 地区 米山奨学寄付増進委員会

委員長 宇尾野 隆（新潟 RC）

2月7日（土）に万代シルバーホテルに於いて本年度第2回米山奨学委員長セミナーが開催されました。

当日は、佐々木ガバナーはじめ山本ガバナーエレクト、植木（財）ロータリー米山記念奨学会理事の出席をいただき、2560地区の57クラブの今年度、次年度の米山奨学委員長78名の皆様にご参加をいただきました。

佐々木ガバナー、山本ガバナーエレクト、安藤地区米山奨学委員長のご挨拶に続き、米山奨学生の朴 治国さん（パク チコク 韓国 新潟大学 新潟 RC）と張 博さん（チョウ ハク 中国新潟大学 新潟万代 RC）のお二人から現在奨学生として生活を送っている経験談をお話いただきました。参加された各クラブの皆様は、奨学生の学問への取り組み、世話クラブとの交流、ロータリーを理解して母国と日本の懸け橋としての役目をこれからの人生で担おうとする姿勢に感銘を受けていました。

その後、グループディスカッションの趣旨説明が宇尾野寄付増進委員長よりおこなわれ、「米山奨学事業へのさらなる取組—これまでの取り組みを踏まえて今後どのような活動をするべきか」というテーマで9つのグループに分かれて討論を行っていただきました。各クラブからは、より多くの寄付金を徴収するための方法などの事例が発表され、また奨学生を各クラブで紹介する方法や卓話で奨学生のお話を聞きたいなどの要望が寄せられる中、世話クラブと近隣クラブが連携し近隣クラブの例会にも、数カ月一回、米山奨学生が訪問しロータリアンとの交流を行って米山奨学制度の理解を深めてもらう機会を増やした方がいいなどの米山奨学制度に対するロータリアンの理解を深めるための意見や幅広く多くのロータリアンに米山奨学生との交流をしていただく方法など多くのご意見をいただきました。

討議終了後、各グループの代表者より各グループの意見が発表され、今後の事業遂行に参考になるディスカッションになったと思います。

最後に、植木理事より講評をいただき参加者の皆様は、再度米山奨学事業に対する認識を深め各クラブでの事業を充実させる決意を新たにしていました。



Ubuntu（ウブントゥ）—あなたがいるから私がいる。 —米山記念奨学会全国学友会会長セミナーの代理出席にあたって—

国際ロータリー第 2560 地区 米山学友会
理事 孫 犁冰（新潟東RC）

「あなたがいるから私がいる」。自分の幸福が他者の幸福にも深く繋がっていること。危険や苦痛を、そして喜びや達成感を共有する。「Ubuntu」は私たちに寛容の心や分かち合いの精神を教えてくれる。これは、1 月 17 日に東京プリンスホテルにて開かれた全国学友会会長セミナーにて、岩邊俊久事務局長のお言葉。私はこの「Ubuntu」に深く感銘を受けた。三井章義副理事長は開会のご挨拶をし、岩邊事務局長による「ロータリー米山記念奨学事業について」の講義が行われた。

1954 年にスタートした「ロータリー米山記念奨学事業」は、60 年間で 123 の国と地域の 18,104 人の留学生（人財）を支援してきた。その留学生たちの多くは、今、「ロータリー精神」を受け継ぎ、世界各地で活躍し、様々な分野において、社会貢献をしている。現在、日本国内に 31、海外に 6 の学友会組織が活動している。これらの学友会組織は、まさに「人財バンク」の役割を果たしている。また「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯したほうがいい」とゲイリー C.K.ホアン会長のお言葉も教えられた。「ロータリーに輝きを」（Light Up Rotary）。「Ubuntu」の精神をもって、一学友として、一ロータリアンとしてのロウソクを灯し、周りを明るくしていこう。みんなは力を合わせれば、世界を光で輝かせることになるのでしょう。それは米山記念奨学事業の使命にもつながり、「私たち自身の変容、周囲の人々、地域社会の変容」のために、積極的に働きかけることを通じて、「国際理解・親善の促進と世界平和の構築」に貢献していく。

継続は力になり。活動を継続しよう。細目にメールを送ろう。多様性を尊重しよう。」という声もあれば、「自分の地域にあった活動をしよう。スケジュール合わせ。現役奨学生など当事者のことをよく聞こう。」という声もあった。また、楽しみさが増すために、家族参加の案も出た。「米山に熱意を持つロータリアンをもっと巻き込んでいこう。」という発言もあった。

最後の懇親会に、参加者一人ひとりが登壇して、米山学友会に対する思いを熱く語り、友情を深める有意義なセミナーになったと実感させて頂いた。
Ubuntu（ウブントゥ）—あなたがいるから私がいる。



すごく楽しく、とても有意義に、P E T Sが開催されました。

国際ロータリー第2560地区 PETS実行委員長

藤田 普（新潟南RC）

国際ロータリー第 2560 地区 2015～2016 年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)は、去る 2 月 21 日（土）、県都新潟市の中心部に位置するホテルオークラ新潟にて開催されました。目前に春が待っているとは言え、余寒の厳しい中、全県から会長エレクト及び幹事予定者の皆様、そして地区役員計 170 名の皆様にお集まりいただき、緊張感あふれる空気の中、山本和則ガバナーエレクトによる点鐘で幕は切って落とされました。

会長エレクトの皆さんは、予め配布された「クラブ会長要覧」を読み、十分に理解を深めた上で参加されておられることと、これからの 1 年間のクラブ運営に対する意気込みが、その落ち着きと輝く眼差しからひしひしと伝わってまいりました。

佐々木ガバナーの慈愛に満ちたやさしい語り口調により、参加メンバーの肩の力が抜かれた中で、いよいよ山本ガバナーエレクトが登壇し、R I 会長 K.R.ラビンドラン氏の方針と自らの新年度基本方針についてのプレゼンテーションがなされました。

R I 会長が 2015～16 年度のテーマとして掲げられた「Be a Gift to the World」という標語がどのように深い意味合いを持っているのか、そしてそのテーマに沿って活動するのに地区及び地区ガバナーがどのような位置で、どのような機能を持ち、役割を演ずるべきか、等について大変にわかりやすく説明をされました。

そしてクラブ会員の私達が持つべき心構えとして、奉仕の理想の原点に帰るべく指導され、平和親睦を求め、向上奉仕に力むよう。この当たり前のことが当たり前にできるロータリアンになろうと、声掛けされました。

山本ガバナーエレクトは上手に冗談を混じえ、参加者の緊張をほぐしながらの講演は少々時間が足りなかったかと、プログラム立案者として反省いたしているところです。

新潟南ロータリークラブは前回のガバナー輩出から 8 年目の地区担当となりました。結構慣れているという自覚が思わぬ失敗を呼ぶのではないかと心配をいたしておりましたが、今回の P E T S と続く懇親会もマグロの解体と食べ放題ショー、そして軽妙な音楽で、とても楽しく無事終了することができ、実行委員一同、ガバナーエレクト共々安堵いたしました。



国際協議会に出席して

国際ロータリー第2560地区 2014-15年度
ガバナーエレクト 山本 和則（新潟南RC）

ガバナー月信も3月号となり、トピックとしての価値は低くなりましたが、米国サンディエゴで開催されました国際協議会のご報告を申し上げます。

2015年1月18日(日)登録、23日(金)までの6日間、本会議、ワークショップ、アイディア交換、パネル討論会などのカリキュラムが朝8時30分から夕方5時まで組まれており、加えて全体で千人を超える、午餐会、晚餐会、舞踏会、国際祭りのタベなどが開催されました。毎日が忙しくもありましたが、大変有意義な協議会でした。素晴らしいリゾート地でもある街には残念ながら太陽がでていない時間帯には一度も散策できませんでした。世界200の国や地域から537地区のガバナーエレクトおよび配偶者が一堂に会する本会議はほんとうに圧巻です。ガバナーとしての知識や心構えに関する数々の研修は、協議会のビフォー、アフターでは歴然とした格差を自覚できるものでした。

日本からは、田中作次元 RI 会長が R 財団管理委員会委員として、小沢一彦元 RI 理事がサンパウロとソウル国際大会推進議長として、さらに北清治 RI 理事、研修リーダー3名(藤林、小船井、岡部各氏)、伊藤 SAA、日本事務局より中井室長、ロータリーの友から二神編集長が出席されておられ、皆様に大変お世話になりました。

さて、スリランカ出身のロータリアン3世で61歳のラビンドラン RI 会長エレクトが発表されましたテーマ“Be a gift to the World”ですが、私たちは生まれてからその生命や愛情、教育などたくさんのもを享受してきました。今ロータリアンとして活動しているこの時、その授かりものをお返しするのですと、言われました。人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるとも言われました。「己の才能は天から授かったもの」これがギフトであり、この自分自身の力を地域社会に、そして世界に役立てようと、開会時のスピーチはたいへん力強いものでした。

PETS、地区研修・協議会、公式訪問等で2560地区の会員の皆様にお伝えしていきます。1年間宜しくお願いします。

©ロータリーの友



©ロータリーの友



©国際ロータリー



©国際ロータリー

佐々木年度後半への抱負 その1



鈴木 佳秀 (新発田 RC)

2014 年ー2015 年度の後半については、会員増強の目標を達成する可能性が高いと判断しています。残念ながら退会者がでましたので原員は 90 名です。既に 6 人の方へのオリエンテーションを行う試みは実施済ですが、出席者の感触は前向きであったことから、目標の 94 名まではあと一歩です。更に、女性会員の入会が達成されるならば、確実に年度内に目標を突破できるでしょう。その点が後半の課題です。また会長挨拶に工夫を凝らし、例会が楽しい場となるよう、最大限の努力をする所存です。



永田 政義 (村上 RC)

今年度、2 名の会員純増を目標としてスタートしたが、上半期実績は 1 名増。更に 1 名の入会候補者がいるので、早期入会を実現し、目標達成したい。

昨年 8 月末よりドイツからの青少年交換留学生を受け入れているが、引き続きロータリー活動への積極的な参加を促し、充実した生活のサポートに努める。

また下半期は財団補助事業である白鳥の泉・大池の浄化や駅前花壇整備など環境美化活動に注力したい。



佐藤 東市 (水原 RC)

各ロータリークラブの課題と言えば、場所を選ばず、異口同音に、会員増強の昨今です。

私は入会 10 年目を迎え、会長の大役を仰せつかることになりましたが、水原クラブには、最大 58 名の会員が在籍していた時期がありました。最近では、その半分にも満たない状況が続いております。

新年度以来、2 名純増の目標を掲げましたが、当クラブにおきましては、現時点で、1 名入会、2 名退会です。当然のことながら、財政状況も悪化の一途を続けており、昨年 12 月には、ニコニコボックスを一部取り崩す事態が生じました。

多くの方々に、お声掛けして、1 名でも多くの会員を増やしていきたいと思っています。



威本 正之 (中条 RC)

・会員増強について

在籍 50 年会員の退会により 1 名減、1 名回復の目途あり。会員の中には高齢者も多く、会員増強は急務となっている。今後クラブを挙げて増強

(隠れた人材の発掘)に勤める。・国際奉仕の一環として、フィリピンの男子・女子 2 名の援助をしており、今後もその子供等の資金援助を継続して実施する予定。・市内中学生の職場体験学習 (インターンシップ) への全面協力と今後の活動方針についての協議に参加する。・未来の夢計画・ロータリー財団補助金制度の利用を計画・環境保全・高齢者福祉等地域のニーズにあった活動を計画・立案していく。



小林 登三男 (新発田城南 RC)

七月からはじまりました、私の年度も半分が終り後半の始まりです。

いろいろな行事に追われ、会員増強もままならず現在入会予定者も数名ございますが、仕事の都合と言うことでまだ入会には至っていません。今は五十周年に向かってクラブは進まなければいけません。実行委員長も決まり組織作りを行ない、クラブ会員の理解と和をより一層深める事が、会員の増強、財団米山の実績にも繋がると考えています。これからは、ただ五十周年に向かって心をひとつにし会員数も五十名に増員できますよう、クラブのみんなで努力を重ねて行く所存でございます。



田中 幸男 (豊栄 RC)

1. 会員増強 年度初めに会員増強委員長を中心に、新規会員情報名簿を作成して推薦者と介入に行き、2 名の方の入会がありました。年度後半は、卓話をガバナー補佐篠沢様にお願ひし、公開例会と情報交換会を 2 月 24 日 (火) に開催。入会予定者に 2~4 名に入会してもらい、今年度のガバナー目標 10% 増を達成の予定です。2. 奉仕活動 例年継続支援事業は、年度前半で終わり、後半には福島清掃活動で、湖畔はモーターボート 2 台、堤防内は人力で空き缶・ビニールゴミ等をクラブ全員で清掃します。会員卓話では、各社の職業の話し。外部卓話では、北区長に依頼して区ビジョン・街づくり計画・区の将来像。又、警察署長・各職員の方に依頼して奉仕活動に役立てたいと思います。



小山 明 (新発田中央 RC)

「和の心を大切にしよう」をテーマに、会員卓話の充実により例会出席率の向上に努め、中断していた国際奉仕の支援先についても、事前視察でミャンマーの子供たちに対して 5 年間行うことを決定、4 月に第一回目の訪問が決定した。また、本国際奉仕を更に大きな活動とするため、友好クラブである安中 RC と連携し行う事となった。前半戦はクラブの会員間「和」の充実や国際奉仕の支援先の確定などに費やしたため、会員増強についての目標 3 名は後半戦で達成すべく会員被推薦者向けの「RC の案内」を作成し会員一丸となり取り組みたい。



林 保英 (中条胎内 RC)

会員増強について前年度から 2 名減の会員総数 27 名の始まりとなった。1 名増の目標に対し 1 月までに 2 名増を実現した。4 月に 1 名増を見込んでおり、クラブの安定運営会員数 32 名を目指し活動中である。

奉仕活動では、まさかの災害に備え、「移動式炊飯器 (大型ガスコンロ一体型)」を地元市社会福祉協議会へ 2014 年 11 月、寄贈した。後半戦の計画については現在検討中である。案として、市では要支援の児童を対象とした合同クラス設立が計画されており、そこで必要になる設備、備品、教材等の寄贈を検討している。また、児童育成の事業、青年会議所主催「わんぱく相撲」への参加と後援をする。



斎藤 憲夫 (村上岩船 RC)

会員増強目標は、純増 2 名に対して前半戦の実績は 1 名。後半戦にもう 1 名の達成を目指す。

更に 100% の例会出席率を目標通りに強化する。そして地域社会に貢献する方針を年度の仕上げとして具体的に推進する。



高橋 秀樹 (新潟 RC)

会員純増目標については、あと一人のところまで迫ったが、会員の転動などにより、上半期には達成できなかった。会員増強委員会によって改めて戦略を検討したい。また、財団や米山などについて会員に呼びかけ、自主的な形で年度実績を向上させたい。なお、当クラブ独自の事業でもある青少年育成基金について、下半期に事業を実施する予定である。会員の交流もクラブ内に閉じることなく、県外や国外のクラブをも視野に入れて、親睦を深める行事を推進したい。

佐々木年度後半への抱負 その2



市川 務 (新潟東 RC)

当クラブ会員は、一時 100 名を超すメンバーで運営されていたが十数年前から退会者が多くなり 50 名強のメンバーとなった。その時から会員増強に懸命に努力したが会員増には結びつかなかった。

今年度は会員増強に力を入れ頑張ろうと会員増強委員会では勧誘資料「ロータリークラブ入会のお誘い」のパンフを作成し全会員に配布年度中に最低一名の声掛けをすることを申し合わせ新年度がスタートした。特に現在 5 名在籍している女性メンバー増も視野にいれ女性の入会にも心がける様努力した。新年度 5 名増の目標でスタートしたが、年度中間で女性 1 名、男性 6 名の計 7 名の増となった。年度終了まであと 6 ヶ月、あと 2-3 名増とし最終的には純増 10 名を目指して行きたい。



森田 順一 (新潟南 RC)

今年度の新入会員増強に付きましては今年度目標純増 10 % を目標に全会員一丸となり、前期 6 名の会員増強を致しました。しかし 4 名の方が転勤により退会した為、現在 2 名増の 95 名となっております。

当クラブの会員増強委員会が幾度かの会合を重ね、後半 2 名の増員を確認しております。来年度ガバナー輩出のクラブとしましては 10 % 純増を何とか達成したく全メンバーで頑張っております。



橋本 昌和 (佐渡 RC)

会員増強より、むしろ減少を止めることの方が当クラブには大きな課題となっております。このままでいきますと 2015-16 年度の会員数は何名になっているのか心配です。結果クラブ運営が今から不安です。はたしてどうなるのかというところです。では、もし会員数がこれ以上少なくなったらとの対策をも平行して考え必要性を視野に入れつつ努力してみたいと思います。



野田 誠記 (新潟西 RC)

5 月 30 日の 40 周年記念式典を迎えるにあたり、8 名増の 40 名の会員増強目標を掲げ、前半は 6 名増とまずまずの滑り出しで、2 月に 2 名増の 40 名に到達いたしました。これも会員各位の意識の高さの表れで、この勢いに乗って記念事業を成功させたいと思います。社会奉仕活動としましては、前半に 37 回目となる中学校野球大会を行い、月信が発行される頃には障がい者通所施設と地域住民との餅つき大会も終わっておりますが、会員皆様の協力により益々の発展が期待できると祈念しております。



渡邊 秀一 (佐渡南 RC)

会員純増目標の 4 名に対し、前期は新会員 2 名増員ですが、純増は 1 名です。後期はもう一度候補者リストを見直し、候補者に適した紹介者を擁立し再度、勧誘活動を行います。

交流委員会を設置することで、友好クラブ及び姉妹クラブとの交流はもとより、地域に密着した団体との交流を行い、親睦と互の連携を深めながら、ロータリーの奉仕活動が一般的に浸透し理解されるように活動を行います。

当クラブは、40 周年事業を 5 月に控えており、実行委員会及び各部会が中心になり観光の島「佐渡」の特色を生かした記念事業、記念式典を計画しております。事業全体を会員相互で盛り上げて成功に導きたいと思います。



橋本 栄一郎 (新潟北 RC)

会員増強に関して、現在の実績は 6 名。これからもクラブの良さを知ってもらい、さらに 5 名増加することを目標にしました。

ロータリー財団グローバル補助金奨学生・牧野さんがロンドン大学に留学中ですので、引き続き支援をしていきます。財団・米山などの寄付実績等は、前半戦クリアしています。後半戦も順調にいくと思います。

国際大会(サンパウロ)は、参加者を 3 名検討中です。



小沢 慎一郎 (新潟中央 RC)

クラブ勧誘には誰もためらいが有るよう感じます。入会後もこれで良かったのか、こんなはずではなかった、日々過ごすなかでの内外での違和感を肌で感じる。今年度会員増強目標を問われたとき、咄嗟に一人の目標としますと返答していました。半年が過ぎ心地よい居場所とは何か、クラブ運営に何が足りないのかをクラブフォーラムを何回か開催し、ようやくたどり着いたところは仲間を増やすことだと気がつき、増強委員を中心に実行委員会を築き、ようやく二人の会員獲得に成功しました。今年度に限らず意識を持ち継続した増強を目標にしていこうと次年度に引き継ぐ事とし、また同時に前年度と今年度の事業を検証しつつ更なる高まりをと考えています。財団、米山に関しても今年度の実績を維持しつつ更なる会員の理解を高めてゆきたいものです。東日本大震災で被害を受けた、いわき常盤 RC との合同奉仕活動も後期の活動の一つとして準備をしているところです。仲間を増やし、質の高い奉仕活動とクラブ運営を目指したクラブ作りをめざし、会員一丸となって頑張っていく覚悟です。



吉田 栄一 (新潟万代 RC)

我がクラブのモチベーションを上げる為にも年度初めに決めた各目標を達成する為に全力で取り組んでいきたい。

特に会員純増に対してはクラブの増強委員長とよく連携し達成していきたいと思います。

又、その他の目標についても各委員長とよく相談して達成していきたい。



山口 高司 (新津 RC)

会長に就任してから、早半年が経過しました。幹事経験もなく入会して 6 年目の私がようやくここまでこれたのは、皆様方のご指導ご協力の賜物と心から感謝しております。

就任後、クラブ奉仕委員会の主導で「クラブ及び例会の活性化・魅力化等推進計画」を作製、その一環として全会員に「アンケート」を実施し、集計結果がまとまりました。また、職業分類に基づいて「会員増強計画」を作成し、実施する段階にきております。

今後は、いずれも計画倒れに終わらないように、また、次年度以降へと繋がるよう活性化に努めて行きたいと思います。



茂野 知行 (村松 RC)

年度前半に会員純増目標を達成できましたので、後半でもう 1 名増を目標に会員同士連携を取り合ってロータリーの魅力を語り理解していただけるよう努めて参ります。

ロータリーデーの開催も年度後半の最初の活動として会員と夫人が集まり新年会と併せて無事に開催できました。

社会奉仕活動では、春の全国交通安全週間にあわせて、街頭指導所設置のお手伝いを初めて行います。花の種が入った封筒に交通安全のスローガンとクラブ名を印刷して、地元の保育園児と一緒に運搬手さんに交通安全の啓発活動をいたします。

地域に密着した活動を年度後半に重点的に行って参ります。

佐々木年度後半への抱負 その3



山田 浩一 (五泉 RC)

ロータリークラブはクラブ間の交流を成立させるためにも、個々のクラブの活発な活動が基本になることは言うまでもありません。人が集うことの楽しさや、一人ではできない有意義な社会奉仕を協力して達成することの喜びをクラブメンバーが実感することが大事なのだろうと思います。

年度も後半になりますと、主要な行事もほぼ終了し、次年度以降の活動への準備に徐々に移る時期かもしれません。この辺でクラブの新たな行事企画を策定し実行していくことで、クラブ活動の活性化に繋がっていきたくて考えております。



遠藤 重治 (燕 RC)

会員増強に関しては前半戦で一名、2 月以降に確約を取れている二名に更に上乗せをするべく、3 月には会員見込み対象者を招いて『友人招待会』を開催し更に増強に弾みをつける。メンバーに候補者リストを作成してもらい、招待スポンサーの立場でアルコールを交えて勧誘の場とする。

新学期の次期には社会奉仕の継続事業である『お靴のベッド』を燕の他クラブと連動し盛大に行う。また 55 周年の同じ節目に当たる燕ライオンズクラブとの初の合同例会を企画し、双方の会員の啓発や友情交換の場としたい。



渡辺 幸雄 (白根 RC)

前期は、8 月の白根 RC 杯争奪中学生野球大会を皮切りに、ガバナー訪問、テレビ朝日見学、囲碁・麻雀大会等様々な行事を行いました。また、本年度は卓話に力を注いでおりまして、県内を代表する様々な分野の方を講師にお招きしております。会員増強は現在女性 1 名の入会ですが、後期は残り 4 名の入会を目指します。例会の出席率向上と会員の更なる親睦を深めていきます。よろしく願います。



三浦 伸一 (加茂 RC)

今年度も会員増強を中心として増強に励んで来ました。毎月 1 回は委員会を開催し、情報交換をして来ました。お陰様で会員の絶大なる協力のもと会員純増目標 3 名をクリアし、新入会員 4 名となりました。引き続き会員増強に力を入れていきます。と同時にロータリー情報委員会を中心に入会 3 年未満の会員へ家庭集会を通して、クラブへの理解と友情を深めて行こうと思います。

財団、米山奨学への協力は勿論の事、青少年剣道練成大会の支援、加茂山、加茂川の一斉清掃等、後半の活動も前半同様、張り切って行きたいと思います。



渡邊 嘉子 (新津中央 RC)

各クラブの後半戦の活動という事ですが、やはり主には「会員増強活動」になるかと思います。現在、会員それぞれが本当に真剣に活動をしてきています。例えば今期入会ではなくとも、次年度、次々年度の入会確約もいただけていますし、クラブの将来へ続いていくと確信しています。そして入会した会員が「入会して良かった」と思えるクラブ作りも大切なのではないかと、やはりクラブを魅力あるものにしていかねばならないとして、会員一丸となって行動しています。その甲斐あって新入会員も知人を紹介してくれたり、会員増強活動に参加してくれているので、クラブの将来は明るいのではないかと思います。現在はクラブ会員 1 人ひとりが、クラブの仲間としてふさわしい人がいた場合は機会ある度に声をかけ、その後全員で協力しアタックする様になっています。後半戦もこの活動を続けて、なんとか会員を純増したいと思います。



佐々木 常行 (三条南 RC)

会員増強について、会員純増目標 3 名に対して現在 2 名の増強が決定しております。目標を達成すべく後半戦も、会員増強委員会のメンバーとともに鋭意努力する所存です。

ロータリー財団・米山奨学について、現在のところ両方とも寄付は順調に推移しております。後半もこのペースを保ちたいと考えます。

今年度の目標に掲げた出席率の向上について、前半の例会の出席率が 90.51%、後半はもう少し出席率を上げたいと考えています。

国際大会（ブラジル・サンパウロ）の参加は現在のところ難しい状況です。



山崎 京子 (阿賀野川ライン RC)

前半戦、2 名の会員増強を達成する事ができました。後半戦、もう 2 名の増強を目指して取り組んでいきます。

又、クラブ主催の「糶の効果でアンチエイジング」と題した健康教室を開催します。

姉妹クラブの台北南華 RC との親交を一層深めていきたい。



小川 政美 (分水 RC)

会員増強は、新年会に 3 名の候補者をお招きし会員と杯を交わしたことで、我クラブの雰囲気やロータリークラブの事を分かって頂けたのか、二次会までお付き合いいただき、1 名は確定、残る 2 名の増強を確信しています。今年度の会長方針の 1 つである社会奉仕活動の見直しは、社会奉仕委員会と副会長・幹事、2~3 年前入会された若い会員数名で成る委員会を立ち上げ、たたき台を作って頂き、数回の全員協議会の中で決定したいと思いますが、出来ない場合は最低限次年度に協議して頂ける道筋を付けたいと思います。



高橋 司 (三条 RC)

会員増強目標に対して残念ながら増強しておりません。後半は新年例会に候補者をお招きして会員皆で入会を勧めるよう取組んでいます。目標を何とか達成したいと思っています。

後半 3 つ程大きな行事があります。1. 市内 4 クラブ合同例会。2. 台湾新竹城中クラブをお迎えしての春の旬例会。3. 市内ライオンズクラブとの例会共に親睦・友好を深めると共に情報を共有して次年度へと繋げてゆきたいと思っています。



平井 正博 (見附 RC)

会員増強は前半期入会予定者の辞退により確保できなかった為、後半期はメンバー全員で再度人選を日々努力している状況です。

メンバー全員が魅力あるロータリーの組織を説明する大切さを認識して増員に努めたいと思っています。

佐々木年度後半への抱負 その4



山縣 恒介 (吉田 RC)

今期、2 月 10 日現在 2 名の方から入会頂きました。

会員数は、33 名です。今期中には会員の皆様の協力を頂きながら会員数 35 名を目指し頑張っていきます。

奉仕活動は、燕、分水クラブと協力して子供達が履物を揃える事を通して心を揃える様になればと念じながら、全燕市の幼稚園、保育園に『お靴のベッド』を寄贈させて頂きます。



岡田 健 (三条北 RC)

2014 年 7 月 1 日在籍 66 名 その後 2 名の会員が逝去、2 名健康等の理由で退会、新会員として 3 名入会、2015 年 1 月 31 日現在 65 名 現在の入会予定者は 3 名です。

会員増強がクラブの活性の源であることを会員は認識しているので 7 名の純増目標達成に向けてあと 5 ヶ月最大の努力をする事を約束します。

地域社会に対する奉仕活動として、一般市民を招待し健全育成支援講演会『フィールドから見渡した世界～自分で考える子供を育てる為に大人ができること～』と題して元サッカー選手中西哲生氏を講師として開催しました。



和須津 悟 (巻 RC)

一、前半より引き続き、例会でのロータリアンとしての意識を維持する為に「ロータリーの目的」を会員全員で唱和する事。一、昨年に引き続き会員増強を心がける事。一、中学女子バレーボール大会への協賛、水芭蕉生息地環境整備事業の実施。一、徐々に次年度にスムーズに入れるよう協力する。

この様な事を考えて活動を行なっていきますので、皆さんのご協力をお願い致します。



皆川 忠志 (田上あじさい RC)

会員の増強は、過去二年、毎年一名の会員増を達成してきておりますが、下半期は積極的に例会に町民の方々をお招きし、PR に努めて、早期に目標である二桁に向け努力する。

一方、町内の国道等の清掃、ゲートボール大会の開催など継続した事業を通じてロータリーをアピールし、奉仕活動と会員増強を併せて推進する。



長谷川 恵慈 (三条東 RC)

上期も終わり会長職も後半年となりました。公式訪問や IM の協力、社会奉仕事業といった大きな事業も終わりホットしております。しかし後半年もあると思ひ年頭に会長方針を読み直しました。「初心の熱き心で」の気持ちで後半も頑張っていきたいと思ひます。会員増強も地区目標の 3 名をクリアし後半も増強委員長ともどももう 3 名位の増強を目標に頑張りたいと思ひます。今年は、創立 10 周年になります。実行委員会、実行委員長とも話し合い、おもてなしの気持ちを持ちながらも自分たちも楽しむというスタイルで 8 月 22 日に式典を行います。全会員が一丸となり英知を結集して、成功させたいと考えています。皆様の参加を心よりお待ちしております。



和田 富美 (長岡 RC)

当初目標「メンバー自身がロータリーに誇りを持つ」「皆が知っているロータリーに」二つをぶれること無く進めて参ります。最大の広報は、メンバー自身の「言葉」、熱や心を伝えるには「意義や誇りを再確認すること」。メンバー各人が、地域のリーダーたる、所作や行動、人間性を高める。それがイメージのアップにも繋がり、周囲に影響を及ぼすの考えから、意識した会長挨拶を心がけます。会員増強は目的ではなく、進化の手段であり、意識の高い新入会員の期待を裏切らないよう、台湾学生の交流事業、悠久山公園の清掃社会奉仕事業、そして例会と、丁寧に対応し、クラブの品格を高めつつ、創設 65 周年を迎える準備としたい。



遠藤 邦彦 (柏崎 RC)

今年度の会員増強については強引という表現はふさわしくないかもしれませんが、人数にこだわり、無理な誘い方の増強は一時の達成の後に後々問題が出てくるのではとも感ずるところがありました。当クラブは、残念ながら若くして他界されたロータリアンがいっぱいいます。今、世代交代をされた方々に先代との絆を大切にしてお誘いし、お話をさせていただき増強をしているところです。そして柏崎ロータリークラブは東京 RC、長岡 RC のスポンサーにより地区で創設 3 番目のクラブとして、今後も会員の相互扶助を益々強めてゆく会員の増強をしてゆきたいと思ひます。ロータリー財団は半期で目標を達成しました。米山奨学もあとわずかで達成できると思ひます。任期も残り数ヶ月になりましたが、ガバナー、分地区のロータリアンと共に、益々の絆づくりに努めたいと思ひます。



高田 裕司 (長岡東 RC)

地区資料を読みかえてみると、会員増強の強烈な嵐に背中を押され続けた年度前半であったかと思う。目標達成が見えた今、振り返ると「ロータリーの意義とは?」「クラブの魅力とは?」を問われながらの増強活動であった。年度後半にはクラブ奉仕と職業奉仕の中でクラブの特色を確認し、さらに育てる事が出来る増強活動と研修を考えたい。社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕については、運営目標としている財団と米山の徴収方法と活動のあり方についての検討と議論とがそれぞれの委員会主導で進んでいるのでまとめていきたいと考えている。



重野 誠 (柏崎東 RC)

本年度 5 名の増強目標を立てました。年度前に新増強委員長と連携を取りながら、会員候補者の吸い上げと推進・アタックするメンバーを選抜しスタートしました。順調に増強が進み 2 月 2 日現在 7 名の純増を達成できました。後半も会員候補者名が上がっており、入会に向けて推進しているところです。

また、次年度早々に当クラブがスポンサークラブとなっている、新潟産業大学附属高校をホスト校としてインターアクト年次大会が開催されますので、実行委員会を組織し大成功に向け準備が始まります。



倉茂 眞衛 (栃尾 RC)

会長に就任して、早七か月が過ぎ後半戦となるわけですが、わがクラブは、入会順に幹事となり、その翌年は会長になりますので、二年間は緊張続きです。残り五か月と思うと、正直気が緩んでしまっているのは否めません。入会者もあと一歩のところまで足踏み状態という現状を超えないと、ガバナーとの約束を果たせなくなるため、気を引き締めて、拡大委員長はもとより全会員一丸となって、一層の努力をいたします。国際大会は、タイ、ポルトガルと二年にわたり多数のメンバーで参加いたしました。今回は見送る方針です。

佐々木年度後半への抱負 その5



三条 正憲 (長岡西 RC)

各行事への出席率を上げることが退会率の低下につながると考え、まずは参加して良かったと思えるような明るく楽しい行事企画を心掛けている。また、退会された方々との交流を通じて当 RC 30 年の歴史を築いていただいた感謝を伝えると共に、新会員の紹介をお願いしている。

2 月は会員増強月間として 4 グループに分かれ、互いに切磋琢磨しながら会員増強を進め、全員参加で目標達成を目指します。



加治 正幸 (柏崎中央 RC)

早いもので、会長に就任して半年が過ぎようとしています。会員増強も目標の 4 人に対して 3 人の方の入会も決まり、あと 1 人の獲得を目指して頑張っていきたいと考えています。

最初は 4 人の増強はなかなか難しいと考えておりましたが、目標を設定され、それを目指していくということで、会員全員で今まで以上に真剣に検討し、勧誘に行くということで頑張れたと考えております。

あと、柏崎のほかのクラブの頑張りが私たちに緊張感を与えてくれました。よそができてうちができないはずはないということで、頑張りました。

残り半年、何とか目標を達成していきたいと考えます。



関谷 馨 (十日町 RC)

後半への抱負として、会員増強の目標が、達成されていないので、クラブ全員の力で達成したい。又、友好クラブとの交流行事の

計画と、社会奉仕活動の桜公園の整備と観桜会の計画の実施を、夜例会などを利用して話し合い、楽しいロータリー活動にしたい。



関 暁 (小千谷 RC)

会員増強に関しては、1 月にて年度目標である 7 名を達成する事ができた。今後は目標を上方修正し、二桁増を目指し、交渉中の方への再アプローチさらには新たにリストアップした上で担当チームを決めて引き続き努力したい。

財団・米山に関しても進捗をチェックした上で、クラブとして県内上位にランクインするべく会員に働きかけたい。

またクラブの活動としては、新会員が増えたこともあり、ここでもう一度基本に立ち返り、ロータリーに関し基礎を学ぶ場を例会時に設定し、ロータリーに関する理解を全員で深めたい。



星野 輝征 (雪国魚沼 RC)

当クラブのユニークな社会奉仕活動を紹介いたします。地域の独身者（毎回男女各 30 名程参加）を対象にシングルズパーティーを毎年 6 月初旬の日曜日に開催しています。一日の流れを簡単に説明いたします。

10:00 スタッフ集合 スタッフミーティング 10:30 受付開始
11:00 挨拶・当日の流れ説明 11:10 1 対 1 トーク 13:20 第 1 回投票・軽食ランチバイキング 14:15 フリータイム 15:00 最終投票・集計 15:15 ペア発表 15:30 終了
本年は 6 月 7 日に開催します。第 19 回目を迎える今大会も成功となるよう、しっかりと準備を進めていきたいと思ひます。



柳 乙彦 (十日町北 RC)

会員純増目標に対して、前半戦の実績は 2 人。これからも引き続き退会された方、又ご高齢で退会された方のご子息等、角度を変えて入会者のリストを作成し、地・縁・人脈を生かして取り組んでいただき、目標を何とか達成したい。

米山奨学特別寄付の前半戦の実績は、第 10 回米山功労者が 1 名、第 5 回が 2 名、第 3 回が 2 名、第 2 回が 1 名、第 1 回が 2 名、準米山功労者が 1 名、合計 9 名となりました。会員数に対して 40.9% となりました。後半戦も米山奨学寄付に対する表彰制度を理解して頂き、会員数に対して 50% を再目標にし、達成したい。



樋口 賢一郎 (津南 RC)

会員純増目標に対して、前半戦会員及び担当者協力の元、12 月末迄に 3 人入会頂き、目標達成し 2 月には 1 人加入が決まりこの勢いで 6 月の年度末迄頑張っていきたいと思ひます。

年度の仕上げとして財団米山等の寄付実績等を点検して、新年度の準備、引継ぎに万全を期したいと思ひます。

国際大会参加者を会員に誘ってみたい。国際大会の成功を願っています。



小島 聡 (越後魚沼 RC)

3 月 12 日～15 日まで行われる「ルドルフ・マイスターピアノ音楽合宿」の成功のために、期間中は支援にあたっています。最終日のピアノコンサートでは青少年及び学生を対象にロータリー賞を授与します。この音楽合宿を受講した生徒の方々が世界中で活躍し、いつの日か魚沼の地でコンサートを行ってくれる事を願っています。

また、5 月には地域振興文化事業の一環としてシャンソンコンサートを行います。



齋藤 尚明 (高田 RC)

ガバナー公式訪問、IM、地区大会等々前半に集中した公式行事が無事終わり例会を中心としたクラブ運営の増々の充実をはかる日々です。本年度は高田 RC 創立 60 周年で 10 月 3 日に記念式典を行います。会員増強は目標 5 名でしたが幸い 1 月末現在純増 9 名を達成できました。あと 3 名は思っているところです。社会奉仕では新幹線開業を祝す意もこめて高田公園に数種類 10 本の桜の植樹を行いました。また 15 名の高田ローターアクトクラブの会員が毎月のように公的な場所の清掃活動を行っているので私たち高田 RC のロータリアン有志も一緒に奉仕活動に力をいれています。



渡辺 敏雄 (直江津 RC)

会員増強については、今のところ純増 1 名。後半戦は今一度クラブ会員の皆様の協力を頂きながら再度候補者のリストアップをし、純増 5 名の目標を達成するべく頑張っていきたい。

クラブ内では引き続き卓話者の充実や移動例会の実施など『魅力ある例会づくり』に心掛け、出席率の向上に繋げたい。

次年度 IM のホストクラブとして、次年度組織と連携しながらしっかりと準備を進めていきたい。

佐々木年度後半への抱負 その6



古川 聡 (新井 RC)

新井ロータリークラブの今年度の増強目標は、純増3名です。増強委員長はじめ会員の協力により、年度前半で純増5名を達成することができました。

年度の後半は、ロータリー活動に対する新入会員の意識を高めるためにオリエンテーションを行いながら、来年度に向けて新規会員の勧誘を進めていきたいと思っています。

増強は一朝一夕にはできません。長いスパンで地道に勧誘していくことが大切です。わがクラブが重点的に進めている職業奉仕活動や国際奉仕活動などロータリークラブの意義をじっくりと伝え、ロータリー活動への理解を広めていきたいと思っています。



青木 孝夫 (糸魚川中央 RC)

会員純増目標に対して前半3ヶ月は苦戦いたしました。目標3名の実績を前半に達成することができました。後半戦もこれにはず

みをつけ、同地区2つのRCとの話し合いもあり目標を定めることもできました。これからもよい人材の入会に継続して取り組みたいと思います。

年度の仕上げとして、新年度の準備、引き継ぎがスムーズにいくよう万全を期し、残りの行事を成功させていきたいと思っています。



佐藤 元春 (糸魚川 RC)

会員増強目標4名に対し実績3名。後半に向け目標達成すべくクラブ一丸で取り組んで参ります。入会した新会員とオリエンテーションを実施しRCへの理解と親睦を深めることが出来ました。また、ゴルフ、麻雀の同好会が立ち上がり、会員相互の交流が盛んになり目標としていた明るく楽しいクラブ活動となっており更なる同好会発足を計画中です。会員家族を誘う催しの他、後半に向け積極的に活動して参ります。



星野 壽幸 (頸北 RC)

今期増員目標をまだ達成しておりませんが、数名の候補者の中から何とか一人は入ってもらいたい、と思っています。そのために、候補者に対してどのような人からどのようにアプローチ

するかを再検討し、実行する必要があります。残りも半年を切っていますので即実行したいと思っています。

財団、米山奨学会の寄付については、寄付目標は達成しておりますが、さらに上乘せしたい、と思っています。

残り5ヶ月。とにかく一人でも増強するために、全員一丸となって行動したいと思っています。



小川 幸喜 (高田東 RC)

前期を終え2名の会員増強を得ましたが、残念なことに1名の会員が物故されました。ロータリーが大好きな方だけだったに残念ではありません。よって純増は1名です。後期は若い方を中心に2〜3名の増強を目論んでいます。

わがクラブは、2つのインターアクトクラブをスポンサーしていますが、再来年に上越高等学校をホスト校としてインターアクト年次大会が開催されます。それにむけて実行委員会を立ち上げ、準備を開始する予定です。



峯村 正文 (越後春日山 RC)

越後春日山ロータリークラブは目下「会員増強」に熱くダッシュ！50名をいかに超えるか、そしてキープするか。これが意外と難しいところ。40代の若い会員が最近入会しました。

近々には40歳の男性会員も予定・・・。

そんな嬉しいニュースも耳にする一方で逆噴射もあり、晴れのち曇り。一進一退が正直なところ。我がクラブにとっては「20周年記念事業」が目下の重要事項です。実行委員会を重ねるごとに形が形成されてきました。嬉しい事です。

3月5日の例会には上越市板倉区にあります「特別養護老人ホーム いたくら桜園」を訪問いたします。女性会員の唄と踊りや男性会員の「名人芸」を披露、楽しんで頂く予定です。

小雪で経過しよう今期、春に向かってダッシュ！

第7分区クラブ紹介：越後春日山クラブ 義の心・越後春日山ロータリークラブ

越後春日山ロータリークラブ

会長 峯村 正文

越後春日山ロータリークラブの例会日は毎週木曜日。会場はホテル・ハイマート。第一木曜日は「カレーの日」、この日は「謙信出陣」を声高らかに合唱する特別な日。そうです！週報、現況報告書の表紙を颯爽と飾るのは「武将上杉謙信公銅像と林泉寺惣門」なのです。ｂｂ「春日山吹く 風に聞く あああ謙信の胸の内・・・」ｂｂ

我がクラブは「義の心」をいつも大切に・・・を「ロータリースピリッツ」にしています。例会を楽しく意義あるものに。そう考えた時に真っ先に浮かんだのは「論語」です。学ぶことは楽しいことであり、旧友が遠くから突然訪ねてきてくれるような、そういう楽しさではないか。この悦びほど人間にとって大切なものはない。混沌とした今こそ熱くそして冷静沈着に「楽しく学べる お互いを知る」ことの意味を聞きたいと思っています。それが世界的ネットワークを通じて、国際理解と親善、平和を築くことになるのだと思います。

1995年2月26日に創立されました当クラブは20周年を迎える節目の年となります。5月17日（日）「越後春日山ロータリークラブ創立20周年記念式典」をホテルハイマートにて開催いたします。翌18日には20周年記念ゴルフコンペ。風間実行委員長をリーダーに実行委員会が進行中です。

さて会員数は50名前後・・・少し減少・・・しかし只今は増強で連日頑張っております。特徴は年齢です。最年長は75歳、最年少は31歳と幅が広く平均が59歳です。際だった特徴は女性会員の多さでしょう。現在13名ですから例会がとても和やかでありクリスマス例会や新年会では華やかになります。子供さんやお孫さんが参加したり、着物姿で唄や踊りが披露される訳ですから想像するだけで楽しくなります。女性会員が多いと当然のごとく男性会員はよりいっそう紳士的に振る舞うのが当然です。アットホームな雰囲気がいっぱい漂っていますが女性会員はとても活発です。ゴルフは上手いし地元の「街活性化事業」の主要メンバーでもあります。地元紙「上越タイムス」に掲載される常連が我がクラブの女性たちです。

社会奉仕委員会では「義の塩」と題しまして谷浜小学校の塩づくり体験学習や体験発表の協力を継続しています。日本海から海水をくみ上げ塩をつくる。例会時、児童の皆さんとハイマートで一緒に昼食。その後の発表にはいつも感動してしまいます。この事業は「越後春日山」のシンボルですから大切にしなければなりません。

ＩＴ関連の職業の方も若い会員も多いからでしょうか。お互いの情報交換に「フェイスブック」を活用しています。例会の様子や大会の内容などをアップ。当日欠席された会員にはとても有効だと思いますし、いいね！のチェックが友好を深めますね。まだまだ若いクラブですから「発展途上人」の我がクラブを紹介いたしました。

第7分区クラブ紹介：高田クラブ 60周年を迎える我らがクラブ

高田ロータリークラブ

副会長 橋本 眞孝

当クラブの RI 加盟承認は 1955 年 8 月 15 日、新潟県でも早い設立クラブの一つである。その後 4 クラブのコ・ホストクラブを誕生させ、今年 60 周年を迎える事になった。人生で言えば還暦である。残念ながらチャーターメンバーは故人になられた。今は高度成長期に活躍された先代の 2 代目やバブル崩壊後の新世代会員で総員 65 名の中堅クラブであり、それなりの基盤が出来ている。良い伝統とクラブ文化が根付いている。全員野球の全員参加型クラブで、一人ひとりが積極的に行動する習慣は捨てがたい。指示なし自発的行動である。

この間、ガバナー 2 人、役名は年度によって違うようだが分区代理、アシスタント・ガバナー・ガバナー補佐を選出しており 2560 地区一角の役割を担ってきた。40 周年の地区大会では 92 クラブ（新潟、群馬地区）のクラブ会報（週報）コンクールに於いて最優秀賞を受賞し 50 周年の地区大会に於いても同コンクールで再度週報の最優秀賞の栄誉を受けた。週報を大事にして来た結果で大変喜ばしい事であった。委員会の動向、専門分野の卓話の要旨、写真で見やすく、分かり易さをモットウにしている。同時に其のネタづくりのプログラム担当や親睦担当の連携は実にうまくいっていると思う。いろいろの行事の詳細な説明をしなくても、一人一人がいざとなれば、活発な活動で責任を果たす事が出来るのは大先輩方が築いた伝統であり、メンバーの体にしみ込んでいるのだろう。例会においても出来る限り、食事と会話の時間を長くして会員同士の楽しみを深め、一方で卓話者の持ち時間（30 分）を失礼の無いように充分とる事を念頭において SAA は例会の雰囲気づくりに一生懸命だ。この良き伝統を世代交代時期においても、しっかりと当クラブの誇りとしてロータリーの目的を達成して行きたい。

複雑な国際情勢、我が国の経済・金融情勢もロータリーは無関係ではない。会員増強を図りつつ退会防止にも“自分の情報受発信場所を創る”意識で新会員をお誘いしたい。

ロータリーを自分のものにして、大いに例会を楽しもうではないか。



第7分区クラブ紹介：糸魚川中央クラブ 糸魚川中央ロータリークラブ紹介

糸魚川中央ロータリークラブ
チャーターメンバー 猪又 初夫

糸魚川中央ロータリークラブ(以下、糸魚川中央 RC)は、昭和 55 年(1980 年)糸魚川ロータリークラブ(以下、糸魚川 RC)をスポンサークラブとして、糸魚川市・能生町・青海町(当時)を区域限界(所在地域)とする 2 番目のクラブとして発足しました。その創立までの経緯が特異なので、それをご紹介します。

当時糸魚川 RC は創立 20 周年を迎えており、その記念事業について検討していました。それまでの他クラブの例や糸魚川 RC 10 周年記念事業などは福祉施設への物品の寄贈やモニュメントの製作などがほとんどであり、そういったものと一味違ったことをしたいという気持ちが会員の中にありました。そんな中で、会員の一人から「以前からいろんなガバナーから言われているもう一つのクラブを作ること記念事業の柱にしたらどうか。」という意見が出ました。しかし、当時の雰囲気では、「こんな人口の少ない、狭い地域で 2 つのクラブなんてとても出来っこない。糸魚川 RC の亜流クラブを作っても意味がない。」という人がほとんどでした。そんな時に、当時のクラブ会長・幹事が地区協議会の折に牛久保ガバナーと話したところ、ガバナーから「最大の奉仕は、奉仕を志すメンバーを増やすことです。是非もう一つクラブを作って欲しい。」と強く要請されたのです。

持ち帰った会長・幹事は思案を重ねていました。当時クラブ内に「歴代幹事の会」という集まりがあり、この問題についても熱心に討論していたのですが、意見の大勢は否定的でした。そんな中で元幹事の一人が「たった一つの可能性がある。それはここにいる幹事経験者が全員新しいクラブに移り、中核になってやればできる!」というものでした。「それはそうだ!」ということで一気に機運が盛り上がり、方向が決まったのです。

糸魚川 RC から 6 名の幹事経験者の移籍がスナリ認められ、準備資金まで付けてもらい、「糸魚川 RC 創立 20 周年記念事業」として糸魚川中央 RC が誕生したのです。当時、このやり方は「糸魚川方式」と呼ばれ、RI 第 2560 地区(当時、新潟県・群馬県)のロータリアンの中ではかなり話題になったようです。

31 名のチャーターメンバーで発足した当クラブも 61 名の最大数を経て、現在 37 名の会員となっています。その内チャーターメンバー 8 名が在籍し、中に 3 名の移籍メンバーが残っています。私達クラブは、創立の経緯もあって、この 35 年間、和気あいあいとした会の雰囲気は抜群であり、会員の力強い行動力と結束力はどこにもひけを取らないと自負しています。



新入会員報告その1

クラブ名：村上岩船ロータリークラブ
氏 名：小田 佐千栄
職業分類：建設請負業
スポンサー氏名：本保 研

クラブ名：新津ロータリークラブ
氏 名：中村 直
職業分類：介護事業
スポンサー氏名：

クラブ名：新津中央ロータリークラブ
氏 名：五十嵐 純一
職業分類：菓子製造販売
スポンサー氏名：渡邊 嘉子

クラブ名：津南ロータリークラブ
氏 名：姚 倉涌
職業分類：農業
スポンサー氏名：大島 知美

クラブ名：阿賀野川ラインロータリークラブ
氏 名：高橋 賢
職業分類：新聞販売店
スポンサー氏名：国井 嘉樹

クラブ名：阿賀野川ラインロータリークラブ
氏 名：長谷川 美浩
職業分類：解体業
スポンサー氏名：清野 修栄

クラブ名：越後春日山ロータリークラブ
氏 名：高橋 直美
職業分類：配管業
スポンサー氏名：

クラブ名：越後春日山ロータリークラブ
氏 名：石原 博
職業分類：屋根・外壁板金
スポンサー氏名：

クラブ名：小千谷ロータリークラブ
氏 名：平沢 進
職業分類：建設業
スポンサー氏名：吉田 武彦

クラブ名：小千谷ロータリークラブ
氏 名：丸山 亮太
職業分類：建設業
スポンサー氏名：廣井 充

クラブ名：新井ロータリークラブ
氏 名：渡辺 聡
職業分類：自動車教習所
スポンサー氏名：横田 泰伊

クラブ名：分水ロータリークラブ
氏 名：横山 謙治
職業分類：不動産
スポンサー氏名：

クラブ名：新潟西ロータリークラブ
氏 名：出口 和浩
職業分類：ラジオ放送
スポンサー氏名：馬場 伸行

クラブ名：新潟西ロータリークラブ
氏 名：小林 彰
職業分類：番組企画制作
スポンサー氏名：馬場 伸行



新入会員報告その2

クラブ名：新潟北ロータリークラブ

氏 名：井関 徹也

職業分類：包装資材販売

スポンサー氏名：

クラブ名：新潟北ロータリークラブ

氏 名：梅澤 真一

職業分類：クリーニング業

スポンサー氏名：大橋 義弘

クラブ名：柏崎中央ロータリークラブ

氏 名：宗 一誠

職業分類：電気事業

スポンサー氏名：木村 あゆみ

クラブ名：柏崎東ロータリークラブ

氏 名：林 勝彦

職業分類：電気事業

スポンサー氏名：重野 誠

クラブ名：加茂ロータリークラブ

氏 名：大森 舜晃

職業分類：仏教

スポンサー氏名：山口 昇

クラブ名：三条南ロータリークラブ

氏 名：大林 培男

職業分類：旅行業

スポンサー氏名：佐々木 常行

クラブ名：長岡ロータリークラブ

氏 名：阿部 修靖

職業分類：金属加工業

スポンサー氏名：

クラブ名：吉田ロータリークラブ

氏 名：近藤 賢則

職業分類：旅館業

スポンサー氏名：

クラブ名：長岡西ロータリークラブ

氏 名：古澤 小百合

職業分類：ペットホテル・老犬介護

スポンサー氏名：



文 庫 通 信 (330号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎「人生は8合目からが面白い」 田部井淳子 2014 5p
(D.2600地区大会報告書)
- ◎「これからのロータリー」 千 玄室 2014 4p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「ロボットの奉仕」 松野文俊 2014 11p (D.2650地区大会記念誌)
- ◎「日本の進路と誇りある国づくり」 櫻井よしこ 2014 2p
(D.2660地区大会記録書)
- ◎「これからの日本に対する期待」 竹中平蔵 2014 6p
(D.2680地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーの存在意義」 深川純一 2014 9p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎「光圀伝について」 冲方 丁 2014 9p (D.2820地区大会記録)
- ◎「人生の金メダル」 齋藤 仁 [2013] 7p (D.2830地区大会記録誌)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日

<ロータリー文庫よりお願い>

書籍入手のお問い合わせ、コピーサービスお申し込みは、ロータリー会員のみに限ります。

コピーサービスの申込は、ホームページまたはFAXでお願いします。

FAX 番号：03(3459)7506

なお、お申し込みの際は書名・著者名の他に分類番号を御記入ください。



ハイライトよねやま 179

2015 年 2 月 12 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 50 年以上前の奨学生から匿名寄付も —

1 月までの寄付金累計は前年同期と比べ 3.0% 増、約 3 千万円の増加です。普通寄付金が 1.5% 増、特別寄付金が 3.9% 増となりました。1 月単月の寄付金は 1 億 6,500 万円と、過去 10 年間で 2 番目に低い金額ではありましたが、累計では直近 6 年間で最高額です。

1 月の寄付の中には、現在は台湾に住む今から 50 年以上前の元米山奨学生から「米山奨学会にずっとお礼をしたいと思っていましたが、これまで何もできずにいたので」と、匿名で 100 万円の高額寄付をいただきました。また、「米山奨学会の目的に賛同した」と、第 2580 地区のカウンセラーからも 100 万円の寄付をいただきました。多くの方々からのご支援に心より御礼申し上げます。

現在、下期分普通寄付金を各クラブからいただいています。1 月末現在、全クラブの 74% (1,675 クラブ) からご送金いただきました。今後も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2015 学年度の新ロータリー米山奨学生が決定

12 月～2 月初めにかけて、2015 年 4 月採用の新規米山奨学生の面接選考が各地区選考委員会によって行われ、合格者が決定しました。1,357 人の応募に対し、奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金（指定校応募）が 519 人、地区奨励奨学金（指定校応募）が 16 人、クラブ支援奨学金が 8 人、海外応募者対象奨学金（海外からの個人応募）が 6 人です。このほか、海外学友会推薦奨学生を現在選考中です。国籍・地域別では、中国 42.4%、韓国 13.8%、ベトナム 10.4%、台湾・マレーシア 4.4% の順です。今回の合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた 729 人が 2015 学年度奨学生となる予定ですが、今後、継続者および他の奨学金合格者による辞退、海外学友会推薦奨学生の可否などによって、人数の変動が見込まれます。

全国学友会会長セミナーを開催

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが 1 月 17 日、都内で開催され、全国 31 の学友会の代表者 29 人と、よねやま親善大使の楊小平さんが参加しました。

午前のセミナーでは、当会事務局からの説明のほか、関西学友会の何玉翠会長、第 2800 地区学友会の尤銘煌会長、第 2620 地区学友会の上野佳子会長から、それぞれ学友会運営についての事例が紹介されました。また午後は、3 つのグループに分かれ、各学友会の抱える悩みや組織づくり、地区との連携などに関する活発な意見交換が行われました。



学友会会長セミナーは 2006 年以来の開催ですが、地区を超えた横のつながりを深め、ほかの学友会からヒントを得る良い機会となったようです。アンケートでは「長年の課題を話し合うには時間が足らなかった」「今後も定期的に開催してほしい」などの声も聞かれました。お忙しい中、ご参加いただいた皆さまに心から感謝いたします。

ベトナムで学友が奉仕活動 ― 児童養護施設に寄付 ―

ベトナム・ホーチミン市で 1 月 18 日、米山学友が児童養護施設を訪問し、ベトナム出身学友 22 人から寄せられた寄付金で購入した米 150kg、砂糖 40kg、インスタントラーメン 25 箱を寄贈しました。また、第 2750 地区・東京日本橋 R C ベトナム交流会有志による絵本が併せて子どもたちに贈呈されました。



参加したチュオン・トゥイ・ランさん（2006-07／大宮北東 R C）は、「海外在住のベトナム人学友も、一時帰国してミーティングに参加し、寄付をしてくれました。私たちの活動はまだ始まったばかりですが、これからも小さなことを集めて、大きなことにしていきたいです」と、活動への意欲を見せています。ベトナムにはまだ米山学友会はありませんが、ホーチミンでは「学友クラブ」を作って定期的に学友が集まり、少しずつ活動を開始しているほか、ハノイでも毎月 1 回、学友の集いが行われています。



I C T 技術を使って子どもに夢を ― 学友が総務大臣賞 ―

「ビジネスモデル発見&発表会」全国大会が 1 月 22 日、東京都内で開催され、米山学友の董又碩^{ドンウソク}さん（韓国／2012-14／能美 R C）が代表をつとめるドリームパーロスが、キャンパス部門の最優秀賞である「総務大臣賞」を受賞し、高市早苗総務大臣から賞状が授与されました。



表彰されたドンウソクさん(右から 3 人目)

この大会は I C T ビジネス研究会、テレコムサービス協会が主催するもので、当日は、全国約 130 組の応募から選ばれた 19 組（キャンパス部門 9 作品、ビジネス部門 10 作品）がそれぞれのビジネスモデルを発表。董さんらは、I C T 技術を使い、幼稚園・保育園で活用できるクラウド型連絡帳サービス「ゆめちょう」をプレゼンテーションし、審査員長から「導入実績もあり、安心安全信頼がテーマのしっかりしたビジネスプラン」と高い評価を得て、見事総務大臣賞に輝きました。董さんは昨年 12 月に北陸先端科学技術大学院大学で博士号を取得、今春の本格起業に向けて準備をしています。

ご案内

モンゴル、タイの各学友会総会が下記の日程で開催されます。ご都合のつく方はぜひご参加ください。会場・時間など詳細は、米山記念奨学会事務局までお問い合わせください。



モンゴル：2015年3月1日(日)
in Mongolia



タイ：2015年3月15日(日)
in Thailand



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

1 月末会員数および出席報告 その 1

第2560地区 2014-15年度 1 月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	先月末数		入会数		退会数		今月末数		7月1日会員数		増減
			総数	女性	総数	女性	総数	女性	総数	女性	総数	女性	
第1分區(9クラブ)		88.60	354	37	2	1	0	0	356	38	352	37	4
新発田	3	96.99	90	0					90	0	89	0	1
村上	4	90.63	33	7					33	7	33	7	0
水原	4	80.92	24	1					24	1	24	1	0
中条	4	87.88	33	3					33	3	34	3	-1
新発田城南	3	90.08	44	7					44	7	43	7	1
豊栄	4	86.50	26	3					26	3	26	3	0
新発田中央	4	86.36	50	5					50	5	50	5	0
中条胎内	4	83.62	28	5	1	1			29	6	27	5	2
村上岩船	2	94.44	26	6	1				27	6	26	6	1
第2分區(9クラブ)		84.73	448	18	6	1	2	0	452	19	423	15	29
新潟	4	83.58	98	0	1		2		97	0	92	0	5
新潟東	4	92.47	62	6	1	1			63	7	55	4	8
新潟南	4	95.57	92	0	2				94	0	90	0	4
佐渡	5	85.00	10	0					10	0	10	0	0
新潟西	4	83.56	38	2					38	2	32	1	6
佐渡南	4	92.12	43	4					43	4	42	4	1
新潟北	3	68.51	43	0	2				45	0	40	0	5
新潟中央	4	80.21	24	0					24	0	24	0	0
新潟万代	3	81.58	38	6					38	6	38	6	0
第3分區(6クラブ)		77.46	130	8	5	0	0	0	135	8	131	8	4
新津	4	73.92	22	0	1				23	0	22	1	1
村松	4	83.00	10	0					10	0	9	0	1
五泉	3	74.00	18	3	1				19	3	20	3	-1
白根	4	73.86	44	3					44	3	43	2	1
新津中央	4	87.50	27	1	1				28	1	28	1	0
阿賀野川ライン	4	72.50	9	1	2				11	1	9	1	2
第4分區(11クラブ)		79.90	364	23	1	0	1	0	364	23	363	20	1
三条	3	88.89	52	0					52	0	54	0	-2
燕	4	68.16	30	1					30	1	29	1	1
加茂	4	88.27	32	6					32	6	29	5	3
三条南	2	91.00	52	1					52	1	51	1	1
分水	4	76.03	31	2					31	2	31	2	0
見附	4	71.00	19	1					19	1	20	1	-1
吉田	4	85.10	33	1			1		32	1	32	1	0
三条北	4	80.77	65	4					65	4	67	3	-2
巻	4	90.00	9	0					9	0	10	0	-1
田上あじさい	4	60.70	7	1					7	1	7	1	0
三条東	4	79.03	34	6	1				35	6	33	5	2

1 月末会員数および出席報告 その2

第5分區(7クラブ)		86.31	310	31	8	1	3	1	315	31	299	30	16
長岡	3	86.72	44	3	1				45	3	42	2	3
柏崎	2	86.17	50	0			2		48	0	45	0	3
長岡東	3	89.20	61	7	6	1			67	8	63	7	4
柏崎東	2	92.16	51	5					51	5	45	5	6
栃尾	4	84.34	22	0					22	0	22	0	0
長岡西	4	84.31	44	5					44	5	43	5	1
柏崎中央	4	81.28	38	11	1		1	1	38	10	39	11	-1
第6分區(6クラブ)		81.94	162	7	2	0	0	0	164	7	154	7	10
十日町	4	97.79	33	1	2				35	1	33	1	2
小千谷	4	69.49	45	3					45	3	42	3	3
雪国魚沼	4	74.00	23	1					23	1	23	1	0
十日町北	3	98.91	24	1					24	1	22	1	2
津南	3	81.43	27	1					27	1	24	1	3
越後魚沼	4	70.00	10	0					10	0	10	0	0
第7分區(8クラブ)		80.77	316	25	8	0	1	0	323	25	306	27	17
高田	4	96.24	61	0	3				64	0	53	0	11
直江津	4	70.93	48	1					48	1	49	2	-1
新井	4	77.94	33	3	1				34	3	29	3	5
糸魚川	3	80.01	41	3					41	3	39	3	2
高田東	3	77.19	36	3	2				38	3	37	3	1
糸魚川中央	4	76.52	34	0	2				36	0	33	0	3
頸北	4	89.30	14	1					14	1	15	1	-1
越後春日山	4	78.01	49	14			1		48	14	51	15	-3
合 計			2,084	149	32	3	7	1	2,109	151	2,028	144	81

	会員数	うち女性
当月入会数	32	3
当月退会数	7	1
当月純増減数	25	2
当月末会員数	2,109	151
当月出席率	82.96	